



おには～外！ 福は～内！

昔から親しまれている節分の由来やひみつを見てみましょう

そうか、なるほど！



古くから力があるとされる大豆で、おにをやっつけます。



ひいらぎにイワシの頭をさしておくとおにがきらいます。



豆まきの風習は、病気や災害をおにに見立てて追いはらう、中国から伝わった「ついな」の儀式が由来です。



季節の変わり目に行く、1年間のやく落としの行事です。

節分にはどうして「おには外！ 福は内！」という豆をまくようになったのでしょうか？
 それは、昔、部の貴族が立春の前日に行った、病気や災害などを「おに」として追いはらう行事がもとになっています。
 今では、おにを追いはらい福を呼ぶ行事として一般的です。



平安時代のついなを再現した行事があります。



冬から暖かい春への節目の日として大切にされています。

豆やいわしを使った節分にちなむ料理をしょうかいしています。

少年写真新聞社

豆をまかれ居場所がなくなった、子おにのお話と少女のお話。

ポプラ社

豆まきで逃げた、ちびおにはどうなるのかな？

金の星社

いつも追いはられるおにたちと、たまには仲良く大えんかい。

岩崎書店

1年間の行事を、楽しく読めるお話と知識のページ両方から解説。

ポプラ社

節分が春を呼ぶ行事だということがよく分かるお話です。

世界文化社

吉田神社道徳部年中行事画帖(一九二八年) 国際日本文化研究センター所蔵 画・中島莊陽(節分)